

平成28年度 第2回吉野川現地（フィールド）講座
「ナルトサワギク抜き取り」を吉野川河口干潟で開催します。
～特定外来生物から干潟の海浜植物を守ろう！～

徳島河川国道事務所は、11月19日（土）に今年度第2回目の吉野川現地（フィールド）講座「吉野川河口干潟の海浜植物を守ろう！」を開催します。

吉野川の河口干潟では、ここ数年、特定外来生物のナルトサワギク（植物）が大量に繁殖しています。このままでは、在来種であるハマヒルガオやコウボウシバといった海浜植物の生息地が減少することから、地域の皆さんの力を借りてナルトサワギクの抜き取りによる駆除作業を行い、外来種駆除による在来種保護の重要性を学んでいただく、現地講座を行うものです。

この「吉野川現地（フィールド）講座」は、吉野川の事を深く知っていただくことを目的に、観察会や外来種駆除等を年3回程度行っているものです。

【応募】

募集定員：20名程度とし、定員を超えた場合は、抽選とさせていただきますので、ご了承ください。

応募期間：11月10日（木）必着とします。

応募用紙と応募先は別紙「応募について」を参考にしてください。

【開催概要】

開催日時：平成28年11月19日（土）（9時00分～12時00分）

（受付8時30分～9時00分）

集合場所：吉野川新町係船場（徳島市上助任町地先）

作業場所：吉野川河口干潟（阿波しらさぎ大橋下流）

持参品：作業しやすい服装、長靴、帽子、飲み物等

（軍手等については準備しています）

国土交通省 四国地方整備局
徳島河川国道事務所

本施策は、四国圏広域地方計画の広域プロジェクト

【No.5地域の自立的・持続的発展に向けた「資国」産業競争力強化プロジェクト】に該当します。

【問い合わせ先】

国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所

T E L 088-654-2211（代表） 088-654-9175（直通）

副所長（地域） 西山 修 （内線206）

◎地域連携課長 松坂 幸二 （内線381）

◎主たる問い合わせ先

■応募について

- 別添の申込用紙に必要事項を記入の上、FAX、郵送等でご応募ください。
- 申込用紙は、徳島河川国道事務所（TEL:088-654-9175）にお問い合わせいただくか、徳島河川国道事務所ホームページ（<http://www.skr.mlit.go.jp/tokushima/>）にてダウンロードできます。
- はがき、メールによる場合は、必要事項を記入の上、ご応募ください。
（郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号（連絡のとれる番号））
- 応募先は、以下にお願いします。
「ご案内」の一番最後にも〈送り先・お問い合わせ先〉を記載しています。

〒770-8554
徳島市上吉野町3丁目35
国土交通省徳島河川国道事務所地域連携課
フィールド講座「吉野川河口干潟の海浜植物を守ろう！」係

Eメール：skr-tokusa63@mlit.go.jp
FAX：088-654-9177
- 悪天候の場合は中止する場合があります（この場合、事前に連絡致します）。
- 集合場所には各自でお越しください。
- 河口干潟には小型の船舶で移動します。

【参考】

■外来種駆除の取り組みについて

○この取り組みは平成21年度より実施しております。

○吉野川の河口干潟では、ここ数年、特定外来生物のナルトサワギク（植物）が大量に繁殖しており、このままでは在来種であるハマヒルガオやコウボウシバといった海浜植物の生息地が減少することから、ナルトサワギクの抜き取りによる駆除作業を行い、外来種駆除の重要性を学んでいただくための現地（フィールド）講座を開催しています。

○昨年度は21名の参加のもと、延べ約1,800㎡の範囲のナルトサワギクを除去しました。

○徳島河川国道事務所では、「よりよい吉野川づくり」を目指した取り組みの一環として、流域の皆さんと情報の共有を図るため、平成14年度より現地において川の調査や河川管理施設などについて紹介する講座を実施しています。

■ナルトサワギクについて

○ナルトサワギクは、1976年に鳴門市瀬戸町で見つかった帰化植物で、花の特徴からサワギク属の一種であることがわかり、ナルトサワギクと名付けられました。その後（約20年後）、学名 *Senecio madagascariensis* という、原産地がマダガスカル産のものであることがわかりました。

○背丈は30～70cmで、枝を張って伸び、背丈の低い時期から一年中花を咲かせています。花の大きさは、2～2.5cmで鮮やかな黄色をしています。葉の形はいろいろで、ふちにぎざぎざがあるものが多く、日当たりのよいところで大きく広がって生えます。よく生えるのは海辺の荒れ地や河原などです。

○特定外来生物に指定されています。特定外来生物とは外来種の中でも特に、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの又は及ぼすおそれのあるもので、外来生物法で指定されている種です。

平成28年度 第2回 吉野川現地(フィールド)講座のご案内

特定外来生物から吉野川河口干潟の海浜植物を守ろう!

吉野川の河口干潟にはたくさんの生物がすんでいます。ここ数年、特定外来生物のナルトサワギク(植物)が大量に繁殖しており、このままでは在来種であるハマヒルガオやコウボウシバといった海浜植物の生息地が減少することになります。

徳島河川国道事務所では、吉野川の抱える環境の問題点を知っていただくとともに、地域の皆さんの力を借りてナルトサワギクの抜き取りによる駆除作業を行い、吉野川河口干潟の海浜植物などを守るため、吉野川現地(フィールド)講座を開催します。



吉野川河口干潟(ナルトサワギク繁殖状況)



平成27年度の講座の状況①



平成27年度の講座の状況②

開催日時など

日時：平成28年11月19日(土) 9時00分~12時00分(悪天候の場合は中止することがあります)

募集期間：平成28年11月10日(木) 必着

集合場所：吉野川新町係船場(徳島市上助任町地先)

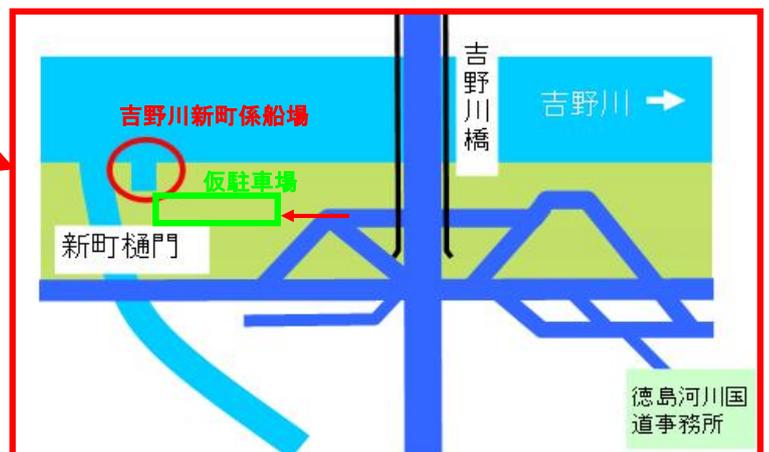
作業場所：吉野川河口干潟(阿波しらさぎ大橋下流)

募集人員：20名程度(20名を超える場合は抽選とさせていただきます)

持参品：作業しやすい服装、長靴、帽子、飲み物等(軍手等については準備しています。)

※集合場所から吉野川河口干潟までは船により送迎を行います。

※船から吉野川河口干潟に下りる際、船着き場等がありませんので濡れる可能性があります。濡れても大丈夫な格好でお越し下さい。



フィールド講座とは

「吉野川に住む生き物は？」「あの施設はなあに？」「吉野川の管理はどのようにしているの？」などについて、皆さんと一緒に吉野川に出かけ川の調査や施設などについて説明などを行っています。

利用方法

1. 募集

新聞、チラシ、ホームページより参加者の募集を行います。



2. 徳島河川国道事務所に申込み

「吉野川現地（フィールド）講座」申込書に必要事項を記入し、郵送、FAX、電子メールまたはハガキで申込みください。



3. 参加者の確定

講座毎の定員に対し、参加者を「抽選」で決定し、申込者にハガキでご連絡いたします。



4. 講座の実施

現地（フィールド）でテーマについて講座を実施します。

第2回 吉野川現地（フィールド）講座

「吉野川河口干潟の海浜植物を守ろう！」申込書 FAX、郵送用

1. 住所	〒
	() ()
2. 氏名（年齢）※参加者全員	() ()
3. 電話番号	自宅 中止時等の連絡先
4. この講座へのご質問などがありましたらご記入ください	

- ①ハガキ、Eメールの場合は必要事項【郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号（自宅・中止時の連絡先）、講座名】を記載し下記までご応募ください。
- ②集合場所までは、各自でお越しください。
- ③応募者が少数の場合中止させていただく場合があります。
- ④開催時における事故等については責任を負いかねますのでご了承下さい。
- ⑤応募者が多数の場合は抽選にさせていただく場合があります。

<送り先・お問い合わせ先>

〒770-8554

徳島市上吉野町3丁目35

国土交通省 徳島河川国道事務所 地域連携課

フィールド講座「吉野川河口干潟の海浜植物を守ろう！」係

HPアドレス <http://www.skr.mlit.go.jp/tokushima/>

電話：088-654-9175（直通）、088-654-2211（代表）

FAX：088-654-9177

Eメールアドレス：skr-tokusa63@mlit.go.jp（←すべて半角小文字）

